

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ヴィクトリアマイルではノームコアがレコードV

5月12日(日)に行われたヴィクトリアマイル(G I)ではノームコア(牝4歳/美浦・萩原清厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。鞍上のダミアン・レーン騎手(豪)にとってもJRAのG I初制覇。勝ち時計の1分30秒5は、2012年安田記念でストロングリターンが記録した1分31秒3を更新する東京・芝1600mのコースレコード、および2012年京成杯オータムハンデキャップでレオアクティブが記録した1分30秒7も更新する芝1600mの日本レコードとなります。なお、ノームコアは、左第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。休養期間については未定です。

### ●ミスエルテの競走馬登録抹消

2016年KBS京都賞ファンタジーS(G III)の勝ち馬ミスエルテ(牝5歳/栗東・池江泰寿厩舎)は、5月16日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は12戦2勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

### ●凱旋門賞に日本馬7頭が登録

10月6日(日)、フランス・パリロンシャン競馬場にて行われる凱旋門賞(G I)の登録が5月15日(水)に締め切られ、日本からはキセキ(牡5歳/栗東・角居勝彦厩舎)、サートウルナーリア(牡3歳/栗東・角居勝彦厩舎)、ノーワン(牝3歳/栗東・笹田和秀厩舎)、フィエールマン(牡4歳/美浦・手塚貴久厩舎)、プラストワンピース(牡4歳/美浦・大竹正博厩舎)、リオンリオン(牡3歳/栗東・松永幹夫厩舎)、ロジャーバローズ(牡3歳/栗東・角居勝彦厩舎)の7頭が登録を行いました。

### ●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

I F H A (国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2019年1月1日から5月5日までに施行された世界の主要レースが対象で、新たにケンタッキーダービーや香港チャンピオンズデー諸競走などが含まれます。首位は前回までと変わらずビュージェネレーション、シティオブライト、ウインクスの3頭(125)。日本調教馬では、クイーンエリザベスII世Cを勝ったウインブライトが第9位タイ(120)にランクインしています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ハッピーグリーン(北海道)が香港に遠征、5月26日に出走予定

北海道のハッピーグリーン(牡4歳、父ローエンゲリン)は、5月26日に香港のシャティン競馬場で実施されるチャンピオンズ&チャターC(G I、芝2400m)に遠征するため、18日に出国の予定です。

### ●やまびこ賞(水沢)はグレートアラカー【各地の主要3歳重賞】

やまびこ賞(5月4日、水沢、1900m)は、2番手を追走したグレートアラカー(牡、父タイムパラドックス)が、逃げたパンプキンズを4コーナー手前で捉えて7馬身差を付け、単勝1.9倍の支持に応じてビギナーズCに次ぐ2度目の重賞制覇を果たしました。北日本新聞杯(5月5日、金沢、1700m)は、単勝1.2倍で圧倒的人気のスターキャデラック(牡、父アドマイヤマックス)が好位から3、4コーナー中間で先頭に立って押し切り、大井から金沢へ転厩後3連勝。東京湾C(5月8日、船橋、1700m)は、3番手から直線入口で抜け出した2番人気の北海道から船橋への移籍馬サクセッサ(牡、父アドマイヤオーラ)が後続を4馬身引き離し、重賞初制覇を果たしています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 1 仏2000ギニー〜ペルシアンキングが快勝

5月12日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG 1 仏2000ギニー(3歳牡馬、芝1600m)は内ラチ沿いの5番手でレースを進めた地元フランスのペルシアンキング(父キングマン、A.ファーブル厩舎)が直線で内から抜け出して優勝しました。ペルシアンキングはこれで昨年9月の2戦目での初勝利から5連勝。今年4月14日の前走G 3 フォンテンブロー賞(芝1600m)で始動して、これを5馬身差で楽勝していました。鞍上のP.ブドー騎手はこのレース初制覇。管理するA.ファーブル調教師は7勝目です。

### ●G 1 仏1000ギニー〜ゴドルフィンがG 1・300勝達成

仏2000ギニーの35分後に同じパリロンシャン競馬場で行われたG 1 仏1000ギニー(3歳牝馬、芝1600m)は4番手追走から残り200mを切った辺りで先頭に立った地元のキャッスルレディ(父シャマール、H.パンタル厩舎)が優勝しました。キャッスルレディは今年3月のデビュー戦(オールウェザー1600m)、4月のG 3 グロット賞(芝1600m)に続いての3連勝でのG 1初制覇です。M.バルザローナ騎手、H.パンタル調教師はともにこのレース初勝利。オーナーのゴドルフィンはペルシアンキングの仏2000ギニーに続いてのG 1連勝で、G 1・300勝を達成しました。